



銅島松濤公園-紅葉-

令和5年度各会計歳入歳出決算を認定 渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例、 令和6年度一般会計補正予算等を可決

令和6年第3回定例会は、9月17日から10月17日までの31日間開かれました。

本会議では初日に2人の議員が、2日目に4人の議員が、3日目に1人の議員がそれぞれ代表として一般質問を行った後、5人の議員が個人として一般質問を行いました。

9月17日、初日の本会議では、人権擁護委員の候補者について支障ない旨を答申、渋谷区議会委員会条例の一部を改正する条例を可決しました。

9月19日、3日目の本会議では、決議1件を決定しま

した。

9月30日の中間本会議では、渋谷区特別区税条例の一部を改正する条例など条例3件及び令和6年度一般会計補正予算1件、指定管理者の指定2件を可決しました。

10月17日、最終日の本会議では、渋谷区国民健康保険条例の一部を改正する条例など条例2件及び令和6年度一般会計補正予算1件、契約1件を可決し、令和5年度各会計歳入歳出決算4件を認定、報告9件を聴取しました。また、請願1件を不採択とし、意見書1件、議員の派遣を決定しました。

令和5年度各会計歳入歳出決算額

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	1,382億4,101万8,249円	1,251億1,217万 813円	131億2,884万7,436円
国民健康保険事業会計	246億6,237万6,634円	241億6,237万6,634円	5億円
介護保険事業会計	160億7,117万3,435円	157億7,799万 33円	2億9,318万3,402円
後期高齢者医療事業会計	62億2,862万5,135円	62億1,633万4,448円	1,229万 687円

次回定例会のお知らせ

●令和6年第4回定例会は、11月22日から開かれる予定です

本会議は、通常、初日と2日目、3日目に一般質問、最終日に議案の議決等が行われます。

お知らせ

●新しい会派が結成されました
(令和6年9月3日付)

議会改革の会

- ・須田 賢 議員
- ・鈴木 建邦 議員
- ・矢野 桂太 議員

●議員の住所等変更(令和6年9月4日付)

- ・桑水流 弓紀子 議員

新住所: 宇田川町1-1 区役所13F

立憲・国民渋谷議員団会派控室

新FAX: 03-5458-4967

※議員名右上の二次元コードを読み込むと、各議員の質問の模様を録画映像でご覧いただけます。

一般質問(代表)

区民の安全・安心について等7点について伺う



自由民主党 齋藤 竜一 議員



▷小田急線山谷架道橋

区民の安全・安心について

問 ①集中豪雨への水害対策として道路脇の排水柵に加え、横断側溝を設置するとともに、ハザードマップの更新を。②山谷架道橋の冠水対策で、もつと目につきやすい位置に通行止めの表示を出し、クッション性のあるゲートを検知器に連動させるなどの対策を。

問 ③倒木による被害から区民を守るため、全区の樹木診断を。区道では横断側溝の設置を進め、都の改定にあわせてハザードマップを更新できるように努める。④目に付きやすい位置へ案内標識を設置、ゲートの連動は研究する。⑤優先的に診断が必要な箇所から街路樹診断実施の準備を進める。

問 施設使用料の見直しにおいて、町会や公的な活動をされている団体等については、使用料を従来と同様に減免するなどの対応が必要では。区長 改定額は、急激な増額とならないよう算定上の上限を設けるなど、現在の利用者にも配慮しつつ算定基準を策定し、町会や公的な活動をされている団体等に対する減免制度については維持していく。

行財政運営について

問 ひがし健康プラザのアーリーナなど、まだ空調設備等の改善がなされていないスポーツ施設の、今後の修繕計画は。区長 経年劣化に伴う施設や設備の修繕については、指定管理者とも調整を図りながら、計画的に改修や修繕を行う。

福祉について

問 ①社会福祉協議会と社会福祉事業団の統合を始める理由、今後のスケジュール、両団体で実施している事業の今後について所見を。②大腸がん検診や肺がん検診は、渋谷区医師会の協力も仰ぎながら、実施医療機関数の拡充など、受診率向上の取組が必要では。区長 ①更なる住民福祉の向上、社会福祉協議会の機能強化や持続可能な運営の効率化を進めることにつながると考えた。民間活用や他の福祉団体への協力などの検討をおおむね3年ほど行い、事業の方向性が定まった後に両団体の統合を行う予定。両団体が行っている全ての既存事業について検証し、原則、統合後の新たな社会福祉協議会が現事業を担うことを想定。②今後がん検診のパートナーである渋谷区医師会と、実施医療機関数の拡充や手段について協

問 神南小学校の建て替えについて財政の観点でどう考え、また、標準的な小学校以上の仕様として具体的にどのような施設を計画しているのか。区長 区有財産を活用し、建設費用に係る区民負担を軽減する手法のモデルケースと考える。「新たな学びの場」として「ラーニング・コモンズ」や「フューチャールーム」、教室と校庭をつなぐテラスの整備などが挙げられ、新たな「地域コミュニティの拠点」となるよう、これまでの小学校体育館と比べ、より本格的な競技に対応できるように計画し、一年を通して利用可能な屋内温水プールを整備する。

まちづくりについて

問 産業振興について

問 産業振興について

問 産業振興について

産業振興について

教育について

問 ①企業や保護者などの様々な社会資源(ヒト・モノ・カネ)を活用し、地域全体で探究「シブヤ未来科」を支える持続可能なエコシステムを構築することへの所見を。②未来の学校における施設開放運営委員会の在り方について所見を。地域開放については、学校建て替え期間中も利用団体の活動が停滞することのないよう、丁寧な対応を。教育長 ①渋谷の街全体を学びのフィールドにすると同時に、子供たちの学びを支えるものとなるよう、持続可能なエコシステム構築に向けて取り組みを。②負担の大きい利用団体の調整部分についてシステム化。学校運営を優先するなど、他の区民施設とは異なる仕組みを検討。学校建て替え期間中においても、各利用団体の活動が継続できるように、近隣の学校への振替等の利用調整を進めている。

問 ①防災アプリにリアルな被害状況掲載を。②洪水ハザードマップに全区浸水実績図や対策掲載を。③水害被害時に消毒薬等配布を。④防災キャラバンでペットの預かり実施とアンケートで意見を集め女性等配慮の避難所運営を。⑤災害時派遣職員から課題等聞き取りを。⑥福祉避難所の整備・拡充は。⑦妊産婦や乳幼児対象の福祉避難所は。⑧障がい者も含めての訓練と被災地の生の情報収集を。⑨ポータブル蓄電池追加配備を。区長 ①防災システムと連携を検討。②③検討。④今後研究。⑤可能な会場で預かり予定。アンケートは準備。⑥23区等で取りまとめ、被災自治体に聞き取る。⑦福祉施設等設置にあわせ拡充。⑧協定を締結したホテルに避難を想定しマニュアル作成中。⑨訓練を検討。勉強会開催を準備。

問 ①無電柱化推進計画策定を。②商店街に無電柱化を優先し防災協定を。③アトドつなぐまちづくりを。④街路樹・公園樹木検査を。⑤雨水浸透施設や雨水タンク助成制度を。⑥観光バス駐車対策は。区長 ①策定に向け準備。②研究。③アトドイベント検討。④順次実施に向け準備。⑤研究。⑥調査の上、対策を検討。

問 町会加入促進と支援を。区長 オンライン申込み・会費集金等課題分析し検討。デジタル化に企業の協力を検討。

問 ①施設で生理用品配布を。②AYA世代のがん患者に在宅療養支援を。区長 ①渋谷未来デザインのプロジェクトと連携し共創事業展開を依頼。②若年がん患

問 ①子どもテーブルに食堂検索できるカレンダー機能。②卵子凍結費用の助成を。区長 ①検討。②研究課題。

問 渋谷区スポーツ協会のパラスポーツへの関わりは。区長 推進を支援する体制。

問 姉妹都市協定締結のホルル市とミラフロレス区との教育面での交流は。区長 ②文化や食の講座提供。教育長 ①特別支援学級設置校の交流、教職員派遣等検討。

問 学校図書館の新聞配備は。②水泳指導外部コーチを。③近隣屋内プール使用検討を。教育長 ①活用しやすい環境整備、デジタル化拡充。②研究。③十分な意見交換が必要。

問 記号式投票用紙導入を。②投票所の暑さ対策を。選挙委員長 ①その考えはない。②スポットクーラー配備や待機列整理し建物内誘導。

問 ①区施設で生理用品配布を。②AYA世代のがん患者に在宅療養支援を。区長 ①渋谷未来デザインのプロジェクトと連携し共創事業展開を依頼。②若年がん患

防災、まちづくり、地域振興、福祉等11点について伺う。シブヤ笑顔 薬丸 義人 議員



△今年8月台風7号時の広尾ガーデンヒルズ前の倒木の様子

環境について

問 ①クールシェアスポット拡充を。②公園の猛暑対策を。区長 ①設置施設の整理必要。民間事業者と協力要請し拡充。②整備・改修時に暑さ緩和対策実施。遊具の熱対策も検討。

子育てについて

問 ①子どもテーブルに食堂検索できるカレンダー機能。②卵子凍結費用の助成を。区長 ①検討。②研究課題。

問 渋谷区スポーツ協会のパラスポーツへの関わりは。区長 推進を支援する体制。

問 姉妹都市協定締結のホルル市とミラフロレス区との教育面での交流は。区長 ②文化や食の講座提供。教育長 ①特別支援学級設置校の交流、教職員派遣等検討。

問 学校図書館の新聞配備は。②水泳指導外部コーチを。③近隣屋内プール使用検討を。教育長 ①活用しやすい環境整備、デジタル化拡充。②研究。③十分な意見交換が必要。

問 記号式投票用紙導入を。②投票所の暑さ対策を。選挙委員長 ①その考えはない。②スポットクーラー配備や待機列整理し建物内誘導。

問 ①施設で生理用品配布を。②AYA世代のがん患者に在宅療養支援を。区長 ①渋谷未来デザインのプロジェクトと連携し共創事業展開を依頼。②若年がん患

問 町会加入促進と支援を。区長 オンライン申込み・会費集金等課題分析し検討。デジタル化に企業の協力を検討。

問 ①防災アプリにリアルな被害状況掲載を。②洪水ハザードマップに全区浸水実績図や対策掲載を。③水害被害時に消毒薬等配布を。④防災キャラバンでペットの預かり実施とアンケートで意見を集め女性等配慮の避難所運営を。⑤災害時派遣職員から課題等聞き取りを。⑥福祉避難所の整備・拡充は。⑦妊産婦や乳幼児対象の福祉避難所は。⑧障がい者も含めての訓練と被災地の生の情報収集を。⑨ポータブル蓄電池追加配備を。区長 ①防災システムと連携を検討。②③検討。④今後研究。⑤可能な会場で預かり予定。アンケートは準備。⑥23区等で取りまとめ、被災自治体に聞き取る。⑦福祉施設等設置にあわせ拡充。⑧協定を締結したホテルに避難を想定しマニュアル作成中。⑨訓練を検討。勉強会開催を準備。

問 無電柱化推進計画策定を。②商店街に無電柱化を優先し防災協定を。③アトドつなぐまちづくりを。④街路樹・公園樹木検査を。⑤雨水浸透施設や雨水タンク助成制度を。⑥観光バス駐車対策は。区長 ①策定に向け準備。②研究。③アトドイベント検討。④順次実施に向け準備。⑤研究。⑥調査の上、対策を検討。

ヒートアイランド・雨水対策、玉川上水旧水路緑道等5点について伺う



立憲・国民
佐々木 由樹 議員



ヒートアイランド・雨水対策

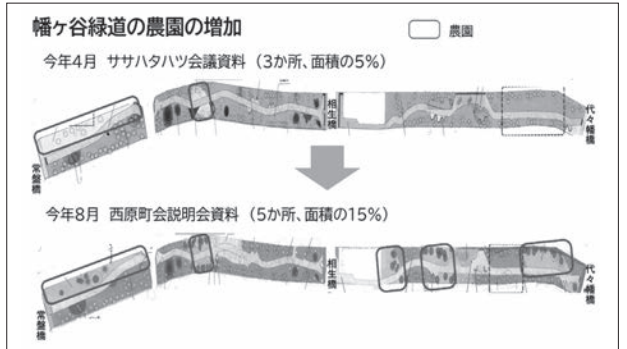
問 ①区北側の地域の緑を増やす考えは。樹冠拡大の方針を。②区内に雨庭スペースを。③渋谷区も住宅への雨水貯留浸透設備に補助金を。

区長 ①植栽など保全、活用を進める。適切な維持管理を行い、緑の拡充に努める。②必要に応じて検討。③他区の実情等を踏まえ研究する。

玉川上水旧水路緑道について

問 ①農園が当初の半分以下とは、緑道全体の農園面積8%を4%以下にしたとの意味か。幅ヶ谷緑道の農園が増えた理由と農園面積は何%か。②都市計画変更で今の規模以上の建物が建つ可能性は。③園路に非透水性素材を選ぶ理由は。評価項目でなぜ意匠性が高いのか。④工事費に電柱地中化は含まれているか。

区長 ①全体のうち農園面積は約8%。幅ヶ谷緑道は、意見を踏まえ全体面積の約15%。②許容される建物はあるが、以前と変わらない。③強度と耐久性のある舗装材を選定。



幅ヶ谷緑道の農園の増加

コンセプトにあわせ意匠性を最も高めた。区と受託者で協議し決定。④無電柱化の費用は含まれていない。

ユニバーサルデザインについて

問 ①看板や案内表示はユニバーサルデザインを取り入れ、高齢者や視覚障がい者も見やすい取組を。②アロープロジェクトは廃止し、一時退避場所誘導サインを見直すべき。

区長 ①今後もユニバーサルデザインに配慮し、設置していく。②帰宅困難者対策に資する事業で継続する。

福祉について

問 ①在宅介護に力を入れていく方針か。訪問介護事業者に採用コストの補助など、区独自の支援を。②障がい者のデザイン商品を職員のクールビズポロシャツ等に採用を。

区長 ①在宅サービスの充実も重点的に取り組んでいく。区独自支援は、国や都の動向を注視する。②クールビズの委員会に伝える。③社会的処

方の新たな体制づくりは今後の研究課題とする。

庁内マネジメントについて

問 外部の公益通報窓口が設置される用途は。

区長 来年度の開設を目指す。

用語解説

※雨庭：地上に降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくり地中に浸透させる構造を持った植栽空間のこと。

※社会的処方：医療機関が、地域資源や人のつながりを処方して、患者を支援する仕組み。

防災、環境政策、区民の健康等6点について伺う



公明党
吉崎 いずみ 議員



防災について

問 ①防災アプリの音声読み上げシステムの検討を。ペットの避難場所を再現し体験する等イメージしやすい周知啓発を。災害時相互応援協定を結んだ石巻市に防災課職員や自主防災組織等の区民に派遣研修を。②本町防災まちづくりや玉川上水旧水路緑道事業以外に電柱地中化の予定地域はあるか。無電柱化の計画的推進が必要では。③区道や区立公園も含め倒木防止対策を。

区長 ①今年度、音声読み上げ機能に対応した改修を予定。防災キャラバンで備蓄品展示などとあわせて、体験の実施に向けた検討を進める。②2箇所以外の予定している地域はない。無電柱化の推進を目指し、計画の策定に向けた準備を進める。③腐朽状況調査を実施し、樹木診断とともに、維持管理の在り方を検討。

環境政策について

問 ①熱中症対策全体への危機管理強化を。区ニュースでクールシェアスポット一覧の発信を。②渋谷区でも商店街への微細ミスト設置の助成を。

区長 ①施設にクールシェアスポットを拡充する方針を決定。来年度は区ニュース活用など検討する。②商店街の意向や国・都の動向に注視し、追加補助の検討を続ける。

区民の健康について

問 ①今年度3回開催の女性専門健康相談の実績、評価は。女性の専門健康相談所を設置し、健康支援の充実発展を。

区長 ①各回4人定員で開催し12名参加、不安が解消されたなど好評な意見を頂いている。設置は難しいが健康相談の開催回数の増加や講座内容の充実を図る。②あわせて案内は今後検討。より分かりやすい広報資料を作成する。③1回接種の生ワクチンに334回分、2回接種の不活化ワ

問 ①学校側とユニテッドコーチの役割分担は。部活動内容などの連携は。②この1年半の専門的指導への具体的な声は。③私立中学校への周知は。吹奏楽や合唱部なども専門的指導者の導入を。

部活動改革プロジェクト

問 ①学校側とユニテッドコーチの役割分担は。部活動内容などの連携は。②この1年半の専門的指導への具体的な声は。③私立中学校への周知は。吹奏楽や合唱部なども専門的指導者の導入を。

区長 ①部活動顧問は生徒に関する情報提供や部活動指導を、ユニテッドコーチは専門的な技術指導や大会引率など。教員の負担軽減につながっている。Teamsを活用して情報共有を図っている。②保護者からは「専門的指導を受け、子供が「部活動が楽しい」と話すのがあるがたい」、生徒からは「新しいメニューを考えて楽しませよう」として「新しいメニュー」など肯定的な声が多数寄せられている。

子育て支援について

問 ①児童育成支援拠点事業

を実施し、養育支援を子育てネットワーク事業として実施しては。②第2子誕生時は、育児パッケージの内容工夫を。③実施に向けて検討。④今年度実施のプロジェクトには、第2子以降の育児パッケージも、より満足いただけるよう選定を行っている。

男性HPVワクチンポスター

フレイル予防について

問 ①今年度開始されるフレイル健康チェックの詳細は。②測定した数値をデータベース化し、高齢者支援施策にかすため、渋谷区シテイダッシュボードへ掲載を。

区長 ①区内施設で計11回実施。歩行姿勢、咀嚼力など11項目の測定を行い、結果を個別にお渡しする。希望者には専門職との個別相談も実施。更にハイリスクな方には、地域包括支援センターと連携し早期支援につなげていく。②データの蓄積を継続し、オープンデータ化について検討。

区民のいのかかわる国政問題

問 軍事に頼らず、9条をいかけた平和外交への転換、核兵器禁止条約署名と批准、都心低空飛行中止を国に求めよ。

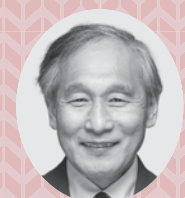
区長 その考えはない。

くらし・福祉を守る区政

問 ①物価高騰対策として、低所得者給付金、小規模零細事業者支援を。②誰もが利用できる紙の商品券やクーポン支給を。③公共施設使用料値上げ中止を。④エアコン購入費助成を。⑤夏・冬見舞金復活を。⑥地域包括支援センターの訪問体制強化を。⑦高齢者宅に緊急通報システムを設置し、利用料は無料に。⑧国に国保の負担割合増を求め、区でできる保険料引下げ、子どもの均等割無料化を。⑨マイン保険証登録率と使えない医療機関の割合は。⑩保険料削減を国に求めよ。⑪敬老金削減撤回を。⑫介護従事者処遇改善を国に求め区も支援を。⑬区営住宅増設と住み替え家賃補助限度額引上げを。⑭緑道再整備計画は白紙に。

区長 ①②⑤⑥⑧⑩⑬その

区民のいのちとくらし・福祉を守り、若者支援、教育の充実を



日本共産党
牛尾 真己 議員



考えはない。③現利用者に配慮し算定。④貸付け等案内。⑦適切に進める。利用料は応益負担。⑨登録率42%。使用不可な医療機関は約3割。⑭地域の魅力を向上させるもの。

若者支援について

問 家賃補助や奨学金給付を。
区長 その考えはない。

教育について

問 ①少人数学級推進を。②新しい学校づくり整備は白紙に。③神南小建て替え費総額114億円の検証は。計画の撤回を。④社会教育館は継続し充実を。⑤幡ヶ谷社会教育館を都と合意の複合施設内に。⑥図書館10館体制の堅持を。
区長 ②継続。③内訳提案後精査し継続。④生涯学習の充実を図る。⑤⑥検討。
教育長 ①区独自実施はない。



▷閉館が報告された幡ヶ谷社会教育館



青少年の安全確保と教育等7点について伺う

維新の会
星野 愛 議員

青少年の安全確保と教育

問 ①学習塾での生徒の安全確保対策の把握は。②性被害における警察との連携のルール化を。③学校の性暴力対策は。④仮・新校舎の死角対策は。⑤生命の安全教育と性教育は。⑥包括的性教育取り入れを。⑦より国際的な英語の資格試験を生徒に紹介を。⑧理数重点校に英語重点校の特色を。⑨中学生に能楽鑑賞機会を。⑩部活動改革プロジェクトで文化部の今後は。
区長 ①全国学習塾協会のガイドラインによると認識。②一律には扱えない。⑨タブレット端末に募集配信検討。⑩ニーズ把握し今後の方針検討。
教育長 ③都教育委員会のマニュアルに準ずる。犯罪に該当の場合は警察に通報。教職員に研修実施。④視界が開けた空間設計を予定。⑤文科省と内閣府作成の指導資料等活用の授業実施。性犯罪や性暴力の予防、相談の必要性等指導充実を図る。⑥慎重さが必要。希望する学校には外部講師紹介等支援。⑦積極的に周知と情報発信。⑧区立中全体

で重点的に取り組んでいる。
スポーツについて
問 ①デフリンピック気運醸成事業は。②パラスポーツは福祉先進国の知見活用を。
区長 ①本庁舎の常設展示やデファスリートのトークショー等。②諸外国の先行事例や知見を参考に取組を進める。
まがへんについて
問 緑道再整備は、①テラゾ材以外の舗装材検討を。②水災の取組に雨庭整備を。③ファームの害獣対策を。
区長 ①その考えはない。②参考にして取組を進める。③餌を残さない等日常管理を徹底。
環境政策について
問 ①渋谷区観光協会等のサイトやSNSにポイ捨て、路上飲酒、路上喫煙に関するルール掲載を。②清掃事務所の屋外スペース再活用は。清掃工場見学の告知等をしては。
区長 ①観光協会含め外国人などに様々な人が閲覧するメディアに渋谷区ルール発信。②不適切利用が続き閉鎖。憩いの場としての再開は状況を見て判断。告知等の活用は検討。

安心・安全について

交通政策について
問 ①中学生に電動キックボードの交通ルールや危険な場面の紹介を。②スケートボードマナー啓発に世界で活躍する日本のアスリートの起用を。
区長 ①中学生も参加可能なイベント等交通安全活動の機会に周知。②警察と連携し啓発してきた。議員の提案も参考に安心できる居住環境確保に向け引き続き検討を重ねる。

文化振興について
問 大阪・関西万博の機運醸成や周知、協力体制の予定は。
区長 区立小中学校の探究学習でプロジェクト参加や修学旅行訪問地に設定している学校がある。区立図書館で万博に際した展示、参加予定国大使館とイベント等を共催予定。



▷大阪・関西万博会場のシンボル大屋根リング

前副区長問題で失った信頼の回復に努力すべき

議会改革
鈴木 建邦 議員

区政運営の区政課題について

問 ①議会改革を進めるために会派結成した。区長は反問権の制度をどう考えるか。②区政の信頼回復は並々ならぬ努力と仕組みの改善が必要。③公契約条例の見直しを。④ハチ公バスの定時運行と安全快適なバス環境確保を。⑤防災ギフト導入を。⑥避難所でのけが対策を。⑦HPVのキヤッチアップ接種と男性接種の16歳は期間を半年延長して

区政運営の区政課題について
問 ①議会改革を進めるために会派結成した。区長は反問権の制度をどう考えるか。②区政の信頼回復は並々ならぬ努力と仕組みの改善が必要。③公契約条例の見直しを。④ハチ公バスの定時運行と安全快適なバス環境確保を。⑤防災ギフト導入を。⑥避難所でのけが対策を。⑦HPVのキヤッチアップ接種と男性接種の16歳は期間を半年延長して

ハチ公バス



は。⑧AIカメラで熱中症対策を。⑨フリースクールとの連携と授業料助成の上乗せを。
区長 ①議会で議論されるものと認識。②区政への関心が高まっているので、丁寧な説明と周知を図る。③理念、内容において何ら遜色ない。④ダイヤを改正し、安全を第一に運行。⑤現時点では考えていない。⑥今後の検討課題とする。⑦キヤッチアップは延長の必要性を検討、男性は延長予定なし。⑧今後検討する。
教育長 ⑨連携については検討、上乗せは研究課題とする。

一般質問(個人)

子育て支援、生活保護、ジェンダー平等の推進を

日本共産党
田中 正也 議員

子育て支援について

問 ①出産費用助成引上げ、保育料完全無料化とおむつ代助成を。②全区立保育園存続を。③保育士配置・面積基準、給与引上げを。④会計年度任用職員保育士の時給増額を。
区長 ①③その考えはない。②再整備や再配置を含めて検

討する。④適正に定める。
生活保護について
問 ①住宅扶助費引上げを。②難聴高齢者補聴器購入助成制度の改善と上限引上げを。
区長 ①適切に対処。②現状引上げはしない。改善は研究。
ジェンダー平等について
問 ①国に選択的夫婦別姓導入求めよ。②区営住宅等で都のパートナーシップ活用可に。③ファミリーシップも認めよ。④同姓パートナーの住民票続柄に「(未届)」の記載可に。⑤職員の男女賃金格差是正を。
区長 ①②考えはない。③④研究。⑤適正配置に努める。

神南小学校の建て替え、防災等3点について伺う

議会改革
矢野 桂太 議員

神南小学校の建て替え

問 区役所や公会堂の資産価値が下がるリスクへの所見を。
区長 エリア一体の防災力や周辺環境は大幅に向上する。
防災について
問 土のうと並行して、止水板を貸し出ししてはいいかがか。
区長 あっせん用品の中で取り扱えるよう準備を進める。

*質問・答弁は要旨を掲載しています。
詳しい内容は、区議会ホームページまたは会議録(12月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は区政資料コーナー、区立図書館でご覧になれます。

渋谷駅周辺のゴミ箱設置

問 コンビニと協力して「ゴミ捨て拠点」を設置しては。
区長 区が補助金など支援を行うことは考えていない。

都市計画審議会について伺う



議会改革 須田 賢 議員

都市計画審議会について

問 昨年12月に行った都市計画決定の際に、副区長が採決を促したと聞いているが、その発言の要旨は。この時の審議会の速記録がまだ掲載されていないが、これは適正か。
副区長 審議会として本日答申するという結論を延期して、継続審議にすることの影響について明確なスタンスを示してほしいとの意見をいただいたので、大きく3点を申し上げたい。是非とも本日も決定をいただければと思っております、と発言した。ただいま、事務局の方で掲載の準備をしており、速やかに掲出できるように働きかけを行う。



パートナーシップ制度等5点について伺う



矢ヶ崎 清花 議員

パートナーシップ制度について

問 ①各自治体と連携して転居に伴う負担を軽減し、サポート体制の強化を。②同性カップル住民票統括欄に、夫・妻(未届)との記載を可能に。
区長 ①公正証書取得の有効性を活かしつつ、他自治体との連携も検討。②直ちには困難だが、国の動向を注視しつつ記載について研究する。

ファミリーシップ制度について

問 ファミリーシップ制度の導入について所見を。
区長 様々な観点から研究。

防災について

問 避難所では、仮設風呂や更衣室に性別によらないスペースを設け、仮設風呂は個別利用できる時間を設定、ユニバーサルトイレの数を増やし、支援体制や利用方法は多様な言語や形式で情報提供を。
区長 ニーズにあわせたスペース活用が出来るよう、避難所運営委員会と検討、今すぐトイレの増設は難しく、備蓄している音声翻訳機の活用で。

ペット防災について

問 ペットと飼い主の専用同伴避難所を指定し、ペット用備蓄品を常備化、犬・猫のフード備蓄数を増やしてほしい。
区長 在宅避難が基本、避難所へは飼い主が必要なものを持参、飼い主とペットは別の場所での生活、犬と猫の頭数に応じた食料の備蓄をしている。

インクルーシブ教育について

問 小中学校にリーカベハン・ドリングスプランの導入を。
教育長 都教委が発行の「人権教育プログラム(学校教育編)」を活用し、人権教育の中で計画的に実施している。

用語解説

※リーカベハン・ドリングスプランは、スウェーデンの学校に義務付けられている、多様な社会の実現のために、平等な扱いを保障するための学習計画のこと。

子育て政策、健康政策、スポーツ推進等5点について伺う



立憲・国民 桑水流 弓紀子 議員

子育て政策について

問 ①プレコンセプションケア推進を。②妊娠判定検査費用助成を。③ネウボラ以外の子育て施設におむつ用ごみ箱

を設置すべき。④保育園等にベビーセンサーなど導入を。

区長 ①女性の健康に関連したサイト拡充を検討。②研究課題とする。③おむつ廃棄用ごみ箱は設置しない。④保育体制と財政負担を考慮し検討。

健康政策について

問 ①4、5歳児健診の導入を。②子育て支援アプリに健診の予約など機能追加を。

区長 ①区民ニーズなど確認し検討。②機能の実装を検討。

スポーツの推進について

問 全国大会や世界大会に出場する経費助成や褒章制度を実施。対象をより広くした助成制度の創設は研究する。

防災について

問 医療用コンテナとトイレトレーラーの導入検討を。
区長 医療コンテナ予定なし、トイレトレーラーは検討開始。

神南小学校の建て替えについて

問 ①計画見直しを。②区道の評価は過少評価ではないか。
区長 ①見直す考えはない。②複数鑑定で適正な評価。

Table with 2 columns: 議会情報公開・個人情報保護実施状況, 情報公開関係(令和6年7月1日~10月31日), 個人情報保護関係(令和6年7月1日~10月31日)

決算特別委員会審査概要

令和5年度一般会計歳入歳出決算など4件の決算は、9月19日に設置した決算特別委員会(全議員34人で構成、委員長・葉丸義人議員、副委員長・近藤順子議員)に付託し、4つの分科会(総務、区民環境、文教、福祉保健)で常任委員会と所管及び構成委員は同一)に分かれ審査しました。
採決の結果、4件の決算をそれぞれ認定しました。
決算特別委員会の各分科会が指摘した主な事項は、次のとおりです。

総務分科会

▼安全・安心パトロールについては、公道私有地の分け隔てなくシームレス、かつ網羅的に効果が得られるよう、当該地域の事業管理者や地域住民への協力を要請し、対策を一層強化されたい。
▼業務用チャットツールについては、文書保存に関する政府の指針を満たし、職員が心理的安全性を持って働くことができる環境となるよう、文書課、総務課とともに検討を進められたい。
▼カスタマーハラスメントについては、研修を取り入れるとともに現場で対処ができる組織体制の構築と対策を講じるよう検討されたい。
▼選挙妨害については、事前説明会で適切な説明をすることともに、選挙管理委員会と警察が連携を密にし、対策を講じられたい。

文教分科会

▼区内保育園・幼稚園・保健所等の身近な施設で、子どもたちが本に親しむことのできる環境づくりが広がっている中で、更なる充実を図られたい。広尾中学校複合施設内に図書館が新設されるまでの間、移動図書館などの新しい取組により、区民が本に触れる機会を増やされたい。
▼保育園については、持続可能な運営を支援し、時間外保育、障害児保育、病児・病後児保育など多様な要望にも対応できるように、必要な経費の補助等を充実されたい。
▼本区では、先進的なICT基盤や教育支援ソフトを導入し、教員や児童・生徒、保護者の活用を促進してきたが、

区民環境分科会

▼恵比寿駅前出張所については、証明書交付に要する時間を短縮するため、証明書自動交付機を設置し、区民サービス向上に努められたい。
▼住民基本台帳カードからマイナンバーカードへの切替え、及びマイナンバーカードの更新には時間がかかるので、区

決算特別委員会表決の様子



福祉保健分科会

今後のICT基盤整備については、学校のみならず児童・生徒や保護者等、様々な意見を踏まえ準備を進められたい。
▼公衆浴場助成については、燃料費等の物価高騰に対応するため、浴場組合との協議を重ねて策定されたい。
▼シニアクラブについては、会員数を増やすため、ホームページによる情報発信だけでなく、効果的な周知方法を検討されたい。
▼民営障害児(者)支援事業助成については、事業所の確保が困難であるため、区有地の活用や区有施設を転用する方法を早急に検討されたい。
▼がん検診については、受診率向上のため実施医療機関を更に増やし、受診しやすい曜日や時間帯を検討するほか、早期発見のため毎年受診できるように推進されたい。
▼育児パッケージは、一部を選択制にする等、内容の見直しを行い、より区民に喜ばれる子育て用品を贈呈されたい。

委員会の活動状況

令和6年6月18日(金) 令和6年10月17日(木)

常任委員会

総務委員会

▼住民自主管理施設、防災備蓄倉庫、渋谷インクルーシブシティセンター(アイリス)を視察しました。防災備蓄倉庫では、備蓄品の定期的な点検と安全かつ円滑に運搬ができる保管場所の検討を要望しました。

▼神宮前三丁目障がい者施設(りばあさいど原宿)建設工事の現場を視察しました。工事が順調に進められていることを確認しました。

▼石巻市ほか3市と締結した災害時相互応援協定について報告を受けました。相互応援が円滑に行われるよう、平時からつながりを深め、連携強化を図ることを要望しました。

▼施設使用料算定基準の策定について、報告を受けました。



△神宮前三丁目障がい者施設建設工事現場を視察

個々の使用料の改定については、区民の声を聞いて対応するように求めました。

区民環境委員会

▼広尾公園の再整備について報告を受けました。地域の方々と公園利用者の要望に丁寧に対応して、詳細設計を進めていくよう求めました。

▼高知市との観光・文化交流協定締結について報告を受けました。本協定を契機に様々な事業を展開して、自治体間の交流を一層進めていくよう要望しました。

▼原宿の丘複合施設(仮称)の建設工事について報告を聴取し、補正予算を調査しました。広場のスペース確保や地域活動の継続など、地域の方々と施設利用者の要望に十分配慮するよう要請しました。

▼猿樂橋の架替え事業について報告を聴取し、補正予算を調査しました。近隣への丁寧な説明やSNSの活用など工夫をして、徹底した周知をすべく求めました。

文教委員会

▼水川保育園、笹塚中学校、中幡・笹塚子育て支援センター等、区内所管施設12か所の視察を行いました。チャレンジクラスのソフト面の充実や保育園・子育て支援センターの修繕・建て替えの計画等に



△渋谷区認証保育所との懇談会

ついて要望がありました。

▼広尾中学校、松濤中学校、神南小学校の建て替え計画について報告を受けました。説明会の周知方法やセキュリティ対策について質疑が行われました。

▼渋谷区認証保育所と私立保育園・認定こども園連合会との懇談会を開催しました。定員に満たない施設状況や新たな事業の展開に対する課題等、様々な視点から意見交換を行いました。

福祉保健委員会

▼保健相談所や地域共生サポートセンター、障害者福祉センター等、区内8か所の所管施設の視察を行いました。施設が有効活用されるよう、空いている部屋の活用や利用者がより利用しやすい開館時間について検討してほしい等の

議会運営委員会

意見がありました。

▼バリアフリーマップのテスト導入について報告を受けました。本格導入に向けて、他の自治体で導入されているバリアフリーマップのユーザー視点での評価を行い比較・検討するよう要望しました。

▼渋谷区障害者団体連合会との懇談会を開催しました。渋谷区ですべての障がい者が安心して住み続けられるよう、多様な住まひの場の整備や障がい配慮した福祉避難所の拡充等を求める要望を受けました。

▼9月17日、第3回渋谷区議会定例会が招集されました。当委員会では、事前に区長の出席を求め、提出予定議案として、渋谷区特別区税条例の一部を改正する条例など条例5件、一般会計補正予算1件、令和5年度一般会計及び各特別会計の決算認定4件、契約1件、渋谷区高齢者住宅サービスセンターなどの指定管理者の指定2件、人権擁護委員

の候補者の諮問1件、渋谷区土地開発公社の経営状況の報告など報告9件、また、追加議案として一般会計補正予算(第3号)を提出するとの説明がありました。

▼当委員会では、定例会の会期及び日程について協議し、会期を10月17日までの31日間とし、決算については、決算特別委員会を設置して審査することを決定しました。

特別委員会

自治権確立特別委員会

▼東京二十三区清掃一部事務組合の立ち合いのもと中央防波堤埋立処分場内施設と中央防波堤外側埋立処分場の視察を行いました。昨年11月にコードレス掃除機やモバイルバッテリー等のリチウムイオン電池などの二次電池付き製品により、大規模な火災が発生し、約3か月間、施設稼働が中止されたとの説明を受け、清掃事業の安全かつ安定的な



△中央防波堤外側埋立処分場を視察

交通・公有地問題特別委員会

運営を継続するには、分別の徹底が重要であることを改めて確認しました。

▼第44回渋谷清掃工場運営協議会の開催結果について報告があり、工場の操業による周辺環境への影響はない旨の説明を受けました。

▼都が31年度までに新設する予定の目黒、渋谷を管轄する児童相談所について、説明を受けました。

▼羽田空港の機能強化について、現地視察と懇談会を行いました。現地では新管制塔を視察し、飛行経路などの概要について説明を受けました。

懇談会では、新飛行経路運用開始後の状況、騒音・落下物対策の取組等について説明を受けた後、安全対策や地域からの要望への対応状況等について意見交換をしました。当委員会では、今後も羽田空港の運用状況を把握して、区民の安全安心のために、調査及び対策に取り組んでいきます。

▼代々木二・三丁目国所有地の既存建物の解体工事について報告を聴取しました。工事車両の通行に際しては、安全を十分確保するよう要請しました。また、今後の国有地の利活用については、地域の要望を取り入れて進められるよう求めました。

官民連携事業調査特別委員会

見をゼロにするため、予防啓発や支援を行っています。HIV感染対策に取り組むためには、行政や医療機関等の連携が連携することが重要であると確認しました。

▼日本最大のイスラム教のモスク、東京ジャーミイを視察しました。施設の概要やイスラム文化について説明を受け、礼拝場を見学しました。

▼令和6年度インクルーシブシティ推進事業について報告を受けました。第2次渋谷区男女平等・多様性社会推進行動計画の推進や啓発事業・相談支援について聴取し、質疑応答を行いました。

▼9月6日、ソーシャルインパクトボンド(SIB)を活用した官民連携事業について、株式会社ドリムインキュベータと懇談会を開催しました。民間の知恵やノウハウ、資金を活用し社会課題解決に新しい手法でチャレンジできる成果運動型の手法で、本区でもSIBを活用した事業実施について研究・検討を行ってきたい等の意見がありました。

▼10月8日、横浜市や様々な協賛企業と連携した共創の教育プロジェクト「はまっ子防災プロジェクト」について、株式会社ペガサスと懇談会を行いました。アニメーションや防災マップ等を活用することで生徒が防災をよりわかりやすく学び自分事として考えることができ、地域共助の輪を広げ防災・減災力向上に有効であることを確認しました。

多様性社会推進特別委員会

▼コミュニティセンターaktaを視察し、MSM(男性間性交渉者)のHIV感染対策について説明を受けました。aktaでは、新規HIV感染、AIDS発症、差別・偏



決算に対する各会派の意見

構成人数が3人以上の会派

賛成 渋谷区議会自由民主党議員団

急激な物価高騰対策に緊急支援給付を迅速に実施した
予算執行と持続可能で健全な行財政運営を評価

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の扱いが5類相当となり、普段の生活を取り戻す一方、光熱費や物価の高騰を始めとする諸課題に対処するため、国や都の補助金も活用して全9回、総額230億円を超える補正予算を編成し時機を捉えた施策を実行しました。物価高騰に対する緊急支援給付として、低所得世帯の生活支援やデジタル商品券事業、子育て世帯等への給付や保育利用料助成等を実施しました。また、「福祉なんでも相談窓口」の設置により区民に寄り添うサービスの拡充を進めました。

将来への備えとしては、中長期的に区民生活の安全・安心を確保するため75億円を財政調整基金に積み立て、持続可能な財政の健全な運営に堅実に対応しています。また、我が会派が提案した、区独自のデジタル地域通貨「ハチペイ」のふるさと納税返礼品としての活用は、寄付収入増とともに地域経済活性化への貢献も同時に実現する成果に結びつきました。

渋谷区議会自由民主党議員団は引き続き区民生活の安全・安心を確保し、将来を見据えた諸施策の実現に全力で取り組むことをお誓いし、令和5年度決算の認定に賛成致します。

賛成 シブヤを笑顔にする会

物価高騰に対応した経済支援と安全安心のまちづくり
福祉・教育の充実、地域コミュニティの形成を評価

令和5年度の決算は、物価高騰の対応、安全安心のまちづくりや誰ひとり取り残さないきめ細やかな子育て・教育・福祉施策を着実に進めました。

物価高騰対策では、介護・福祉施設への補助やハチペイを活用したポイント還元、プレミアム付デジタル商品券、無利子融資あっせんを実施。子育て分野では、保育所等訪問支援によって必要な療育を受けられる機会を拡充。教育分野では、学校建て替えの計画・設計を行い、新しい学びの環境づくりを進めました。福祉分野では、地域包括支援センターでの障がい相談や福祉なんでも相談窓口を始め、重層的支援体制の整備を着実に実行。健康分野では、带状疱疹ワクチンの補助、不妊治療助成などを実施し、多くの区民に利用されました。防災・防犯では、地域防災計画を見直し災害対策を強化。青色防犯灯付パトロール車や徒歩による巡回によって、迷惑路上飲酒や落書き行為に対して指導、抑止を行いました。まちづくりでは、ふれあい植物センターや駒テラス西参道を開設し、地域コミュニティの形成を促進しました。

シブヤを笑顔にする会は、誰もが安心して、自分らしく生きることが出来るまちを実現するため、今後も政策提案に邁進いたします。

反対 日本共産党渋谷区議会議員団

物価高騰に苦しむ区民や中小業者への支援は行わず、
渋谷駅再開発や緑道再整備への多額の税金投入に反対

物価高騰による賃金や年金の実質低下で、区民のくらしと中小業者の営業が深刻な中、日本共産党区議団は低所得者への給付金や中小業者への光熱費助成、若者への家賃補助などを提案しました。しかし渋谷区はハチペイと無利子の融資しか行わず、しかも19年連続の国民健康保険料の値上げで追い打ちをかけました。また、渋谷区だけがこの年度に学校給食費無償化に踏み出さず、介護士や保育士への処遇改善には背を向け、待機者が深刻な特養ホームやグループホームの増設も先送りしました。

一方、渋谷駅周辺再開発などには49億円、区内中小業者支援とは無縁のスタートアップ事業に2億8,855万円を投入。住民合意のない玉川上水旧水路緑道整備に、これまで11億5,000万円も支出しました。

さらに「新しい学校づくり」整備方針にもとづく広尾・松濤・代々木中学校、神南小学校の建て替えでは、特別教室を減らしプールも全校に整備しない、スポーツセンターの仮設校舎には専用グラウンドもないなど、教育環境を悪化させる計画を住民の意見も聞かずトップダウンで進めています。

住民福祉を増進する区の役割を投げ捨てた決算は認められません。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

政府は、令和6年9月の月例経済報告において、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」との判断を示したものの、「ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある」とも指摘している。

こうした状況の中で、現在東京都が実施している固定資産税・都市計画税の減免措置等は、物価高騰や円安などにより厳しい経営環境にある中小零細企業者にとって、事業の継続や経営の健全化に大きな力となっている。これらの減免措置等を廃止した場合、区民とりわけ中小零細企業者の経営や生活は更に厳しいものとなり、地域社会の活性化、ひいては、日本経済の回復に大きな影響を及ぼすことになりかねない。

よって渋谷区議会は、東京都に対し、中小零細企業者等の経営基盤の強化支援を図るため、以下の措置を令和7年度以降も継続することを強く求めるものである。

- 小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置
- 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置
- 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年10月17日

東京都知事あて

渋谷区議会議長名

反対 立憲・国民渋谷議員団

目的や成果物の説明が不十分で不透明な事業が散見される、
令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定に反対

立憲・国民渋谷議員団は令和5年度渋谷区一般会計決算の認定に反対しました。以下、主な理由を示します。帰宅困難者対策のシブヤ・アロープロジェクトについて、3,447万円が投じられ巨大な鯨の壁画が描かれましたが、この事業により来街者を避難場所に誘導することは困難で事業を廃止すべきです。また、代々木深町小公園のスケルトントイレが250日余りに渡って使用できなかったということが明らかになりました。トイレプロジェクトのトイレは、他のトイレと比較して維持費が約7倍にも登り、今後のトイレ整備のあり方を見直すべきです。玉川上水旧水路緑道再整備の設計では、建築家の田根剛氏に2億9千万円、累計で7億円以上が支払われています。その後、1台400万円のベンチや1平米17万円の床材を含む113億円という高額な総工事費が示されました。整備される農園等、区民の理解が十分に進んでいないこの事業自体、抜本的に見直すべきです。学校長寿命化計画の神南小学校再整備は、近隣のマンションの建て替え計画に関係するもので、一度スケジュールの変更もありましたが、子どもたちの学習環境を守るため、計画の遅延が無いようリスクヘッジを考慮したものにすべきです。

賛成 渋谷区議会公明党

物価高騰の中、区民サービスのさらなる向上と
教育・福祉の取組が前進

令和5年度も物価高騰により、区民生活や中小企業者に大きな打撃を与えています。本区は一早く対策を講じ、区民サービスを低下させることなく、さらなる向上に努めてきました。

公明党は現場の声を区政につなぎ、区民福祉、行政サービスを停滞させないため重要な課題への取組を推進してきました。また我が会派は物価高騰における、教育・子育て現場の安全対策をはじめ、保護者負担を軽減するため長年取り組んできた区立小中学校の給食費無償化を実現。また子どもの医療費無償化が18歳まで拡充できました。経済負担軽減策として取り組んできたデジタル地域通貨「ハチペイ」を活用し、我が会派が提案した「プレミアムデジタル商品券」を発売。引き続き、物価高騰対策の拡充に努めて参ります。「重層的支援体制」事業では各所管で連携強化され、とりわけ地域に根差した「巡回型なんでも相談」の開始を高く評価します。また区民の声が実り、带状疱疹ワクチン助成が実現。今後も区民の健康増進に努めて参ります。

渋谷区議会公明党は、今後も一層の区民福祉向上に全力で取り組むことをお誓いし、決算に賛成致します。

賛成 日本維新の会渋谷区議団

防災対策の強化、再整備事業の透明化は求められるが
福祉、次世代への投資等区民に寄り添う体制を評価

年明け間もなく発生した能登半島地震では、被災された方々、今なお避難生活を送っている方々に心よりお見舞い申し上げます。防災キャラバンは好評であるものの、防災対策、また豪雨対策を見直し強化していく必要があることを痛感いたしました。玉川上水旧水路緑道、水道道路等の再整備が目まぐるしく進んでいます。何より、周辺の方々の理解を得られるよう徹底した周知、説明、ご意見の聴取が求められます。暑さ対策としてクールシェアスポットは増設されましたが、近年の暑さは命にも関わるレベルであり、民間との協力体制を強化し安全な体制を更に整えていくべきです。重層的支援体制の強化が図られる中、福祉、子育て等連携し切れ目ないサービスを更に充実していくべきと考えます。不登校の児童生徒に対するバーチャルラーニングプラットフォームが開設されました。居場所が必要な若者対策が強化されることに期待し、今後の体制強化にも取り組んでまいります。探究学習では、学校によって学習の質に差が出るのがなきよう今後の対応に注視してまいります。

日本維新の会渋谷区議団は、これからも区民の皆様が安心安全な暮らしができるよう様々なお声に寄り添うことをお誓いし、決算に賛成いたします。

賛成 議会改革の会

コロナ5類移行、物価高騰、副区長不祥事など
乗り越えるべき課題の多かった年度

無会派の議員3名が政策の違いを乗り越え「議会改革を進める」目的で一致して9月に結成した会派です。政策面では個々の意見を尊重しておりますので決算についても以下それぞれで意見表明をいたします。

(須田) ハチペイの活用や防犯対策の推進など、一定の成果はあったものの一方で玉川上水旧水路緑道再整備については地域住民の意見を尊重せずに計画を進め、前副区長の誹謗中傷による辞職については説明が不足している等、独善的な対応が見受けられる点については改善を求めていきます。

(鈴木) コロナ5類移行や带状疱疹ワクチンの助成など感染症対策、ハチペイの積極活用など物価高騰対策、未来の学校プロジェクトや中学校部活の支援など教育政策、以上3点において充実したと評価。副区長問題からの信頼回復、住民要望の吸い上げと反映、インフレ時代への適応などに課題。

(矢野) ハロウィーン対策や分煙対策指導員の拡充、ハチパトによる巡回等は一定の治安維持効果が上がりました。一方で、玉川上水旧水路緑道の再整備費が膨らむこと、神南小と渋谷ホームズ周辺の一体的開発については、現状の計画には賛同できません。来年以降も引き続き注視していきます。

◇委員会提出議案

Table with columns: 件名, 概要, 自由民主党, 立憲・国民, シンパヤ笑顔, 公明党, 日本共産党, 維新の会, 議会改革, 無所属, 結果. Rows include items like '人権擁護委員の候補者について', '渋谷区特別区税条例の一部を改正する条例', etc.

※玉川上水旧水路緑道再整備の園路舗装材について再考を求める請願は、所管の委員会での継続審査となりました

第3回定例会／報告
▽健全化判断比率
▽渋谷区土地開発公社の経営状況
▽株式会社渋谷サービス公社の経営状況
▽一般財団法人渋谷区観光協会の経営状況
▽公益財団法人渋谷区文化・芸術振興財団の経営状況
▽一般財団法人渋谷区スポーツ協会の経営状況
▽株式会社渋谷都市整備公社の経営状況
▽専決処分

堀切稔仁議員に対する問責決議
令和6年8月23日、渋谷区長から渋谷区議会に対し、「区議会議員の不適切行為に対する要望書」と題し、渋谷区議会議員である堀切稔仁議員の言動について、厳正な対応を求める旨の書面が提出されました。この要望書は、令和2年に町田市立小中学校の児童が自死した件に関し、堀切稔仁議員が、当時の校長でその後本区の教育長を務めた区職員について、Facebookや選挙公報により、いじめを隠蔽したなどと情報を広めたことを問題視したものです。

今回は、第3回定例会の内容を中心に、編集後記にお知らせしました。今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。
■区議会事務局調査係
TEL 03-3463-1096
FAX 03-5458-4939
メールアドレス
div-kugikai@shibuya.tokyo

会派等一覧 令和6年11月1日現在 (◎幹事長／◎副幹事長)
渋谷区議会自由民主党議員団(7人) TEL03-3463-1034
シンパヤを笑顔にする会(6人) TEL03-3463-1046
日本維新の会渋谷区議団(3人) TEL03-3463-1076
立憲・国民渋谷議員団(6人) TEL03-3463-1042
渋谷区議会公明党(5人) TEL03-3463-1036
議会改革の会(3人) TEL03-3463-1060
日本共産党渋谷区議会議員団(3人) TEL03-3463-1038
無所属
矢ヶ崎 清花 TEL03-3463-1068